

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第29号 平成27年11月29日

初回英の先制2点適時打でゲーム展開が有利に・・・

深沢4勝でハーラートップに躍り出た??

	1	2	3	4	5	6	7		R
B	0	0	0	0	0	0	5		0
G	2	0	0	0	1	1			4



借金1つ減らし、残り2、残るカードを意識すると、今日も勝利が絶対の中、ひょんな事から、またもや深沢がマウンドに上がる事となった。また、今日は左翼が狭い河川敷なので、どれだけ、彼のピッチングが作れるか? また、打線はチャンスをとどれだけもの出来るかがカギと感じた。その立ち上がり、先頭打者に2球目を強振されると、打球はぐんぐんと左翼方向に、これを今日シフトに入った英が好捕し、一死とした。しかし、次打者にはストレートの四球で出塁を許す。3番には、2-2の並行カウントから三遊間を抜かれ、盗塁も絡まり一死一・三塁と場面はピンチと化した。しかし、ここから踏ん張り後続二打者を遊飛と一邪飛に斬り、このピンチを0点とした。その裏の攻撃、1番・2番と倒れたが、3番哲也が粘って三遊安で出塁、4番昌平が四球を選択、二死一・二塁とチャンスを広げた。そして5番英の打席でDSが決まり、二死二・三塁と得点シーンに変えた。ここでその英が2球目を中前に運び2走者が生還する2点適時打で先制。更には5番深沢も右前に運び、更なるチャンスとした。そして丸山の打球は、痛烈であったが、投直で捕球され、惜しくも2点止まりとなった。しかし、この2点は、今後の展開に非常に響く事になる。2回、先頭を空三振で斬るも、次打者の打球が遊内安となり、出塁、そして、三ゴロに斬り併殺かと思った瞬間、これを野手が落球し打者走者共々、走者を残す事になる。そして動揺をみせたか次打者には四球を与え、一死満塁となった。が、何とかしたい投手と守備陣が共に踏ん張った。先頭に返り1番打者を遊ゴロ、これをホームホースアウトで二死、更には、3-1とカウントを悪くしたところから、最後はきわどいコースを投げ、結果見逃し三振を奪い、この絶対のピンチをチームで乗り切った。その後は、共に、走者を出す、凌ぐ内容が続く。そしてゲームが動いたのは、5回の攻撃、先頭が倒れ一死となったが、先頭の祐介が四球選択、その後二盗を決める。二番智も遊内安で続き且つ二盗を決め、一死二・三塁。ここで、三番哲也が叩いたが、ショート正面の打球、スタートよく祐介がホームを目指すもここはタッチアウトで二死。しかし4番昌平が3球目を振りぬくと三遊間を抜き、この打球で三塁より智が生還し、3点目、二塁からも哲也がホームを目指したが、ここは、連携が逸れず、ホームで死す。しかし、翌6回にも、英の安打、深沢の死球で出塁した。が、後続二打者は走者を進められない。ダメ押しのチャンスで1本が欲しい中、3球目を林が右手1本で三遊間を抜く安打を放つ、この打球で果敢に英がホームを目指すも、今度は連携が逸れ、ホームインし、嬉しい4点目を挙げた。最終回もマウンドに深沢が上がる。が、先頭には四球、次打者には死球と、無死一・二塁としたところで、今日何とか凌いでいた深沢だったが、今日制球悪かったカーブが、真ん中高めに入ったところを振りぬかれると、打球は、左翼後方への3点HRとなり、ここでマウンドを政司に託した。しかし、今日の彼はいつもとは異なった。四球と安打と犠飛で集中砲火を浴び2点を失点し逆転を許した。が、ここで草野球が出現。何と時間切れで、この得点は幻となり、結果6回終了の4:0と深沢が4勝目を挙げる結果となった。やはり今日は、弱っている投手をチームが何とか支えようとした事、そして、初回の英の適時打、更に得点は出来なかったが、祐介の盗塁は中押し出来た大きな要因、次打者の打球はセカンド後方の打球で内野安打となったが、盗塁していなかったら、6-4-3の併殺も可能性としてあった。この走塁が併殺を防ぎ、その後の得点を呼んだと言っても過言ではない。だが、場面で単純に送って良い場面でそれをしなかったのでは、残念な内容。これは次回実践する事とし、今日の勝利で残す借金は後一つ。残り二試合で、今期勝ち越しを決めるためにも、この勢いで勝利を目指しましょう!